

2016年11月15日付 市民タイムス「科学の甲子園全国大会へ」

平成28年(2016年)11月15日 火曜日 (26)



県代表として科学の甲子園に出場する
松本秀峰チームのメンバー

秀峰「科学甲子園」で全国へ

県で初優勝
5年生8人闘志燃やす

松本市の松本秀峰中等教育学校の5年生（高校2年生）の男子生徒有志8人でつくるチームが、数学と理科科目の知能を競う「科学の甲子園全国大会」の県大会で初優勝し、来年3月に茨城県で開催される全国大会への出場を決めた。強豪との戦いに向けて、さらに闘志を燃やしている。

12日に松本市内で県大会が行われ、出場19チームの頂点に立った。選手は上嶋優太君（17）、小林祐希君（16）、塩原慧介君（17）、松田優樹君（17）、三沢竜太郎君（16）、水橋大瑠君（17）、田中葵君（17）、角田光君（17）の8人で、10月（16）の8人で、10月にチームを結成して準備を進めた。

県大会は筆記と実技（実験）の2競技で、総合点で順位を競つた。君と角田君は補欠として仲間を後押しした。

物、化学、数学など6科目から出題される。一人一人が責任感を持つて戦おうと、受け持ち科目を決め、仲間の家で合宿もしながら力を磨いた。県大会は6人で出場するため、田中君と角田君は補欠として仲間を後押しした。

れる形でもう差しにな

出題された問題には
大学レベルのものもあ

松本市城西2の古園
家ゲストハウス・バツ

11月15日は「いい遺言」